

この資料は 2017 年 4 月 18 日(現地時間)にインドムンバイにて発表された
プレスリリースの抄訳です。発表内容の詳細は原文をご覧ください。
【原文 URL】 http://investors.tcs.com/SiteCollectionDocuments/Investors/Presentations/TCS_PressRelease_USD_Q4_17.pdf

【ご参考資料】

2017 年 4 月 19 日

報道関係者各位

日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ株式会社

TCS、各市場にわたる幅広い成長により 安定した業績を 2017 会計年度に達成

- 年間売上高: 前年度比 6.2%増の 175 億 8,000 万ドル
- 固定通貨ベース*では前年度比 8.3%増、受注量は前年度比 8.5% 増
- 年間純利益: 前年度比 6.2%増の 39 億 2,000 万ドル
- 年間営業キャッシュフロー: 前年度比 13.2%増の 40 億ドル
- 第 4 四半期売上高: 直前期比 1.5%増、前年同期比 5.8%増の 44 億 5,000 万ドル
- 第 4 四半期純利益: 前年同期比 5.8%増の 9 億 9,200 万ドル

2016-17 年度ハイライト	2016-17 年度第 4 四半期ハイライト
<ul style="list-style-type: none"> ● 営業利益は 45 億 2,000 万ドル ● 営業利益率は 25.7% ● 上位契約規模帯に新たに加わったクライアント数: 5,000 万ドル超: 11 社 2,000 万ドル超: 17 社 1,000 万ドル超: 12 社 ● 新規採用者総数: 78,912 名 ● 雇用者純増数: 33,380 名 ● 2017 年度の 1 株あたり利益(EPS): 2.0ドル 	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業利益: 11 億 5,000 万ドル ● 営業利益率: 25.7 % ● 受注量: 1.7%増 ● 新規採用者総数: 20,093 名 ● 雇用者純増数: 8,726 名 ● 離職率: IT サービスでは 10.5% ● 2016 年度第 4 四半期の 1 株あたり利益(EPS): 0.50ドル

2017 年 4 月 18 日、インド・ムンバイ発—IT サービス、コンサルティングおよびビジネスソリューションのリーディングカンパニーであるタタコンサルタンシー サービスズ(本社:インド・ムンバイ、以下:「TCS」)は、IFRS(国際財務報告基準)に基づき、2017 年 3 月 31 日を末日とする 2017 会計年度および第 4 四半期の連結決算を発表しました。

- 2017 年度の Digital 分野の売上高は前年同期比 29%増の 30 億ドル
- 2017 年度には 20 万人を超える TCS 従業員が 50 万件を超える新しい Digital 技術を取得

TCS の代表取締役社長兼 CEO(最高経営責任者)ラジェシュ・ゴピナタンは本会計年度の業績について、次のように述べています。「2017 年度は TCS の主要市場に生じた経済および政治的混乱にもかかわらず、幅広い成長を遂げた年となりました。固定通貨ベースの売上高は 14 億ドル拡大し、またお客様のデジタルエコノミー活用を支援

* TCS は、固定通貨ベースの算出にあたり、直前四半期からの平均通貨コンバージョン率を使用して本四半期の売上を再計算しています。また、本プレスリリースの日本語抄訳では、会計年度表示を本社(インド)に合わせた表記としています。(例: 2017 年 3 月 31 日を末とする会計年度は「2017 年度」となります)

したことにより Digital 分野の売上高も急増しました。Digital ビジネスはこの 1 年で 29%の成長を遂げ、さまざまな売上規模にわたってお客様の数を着実に拡大したことにより、大半の産業において 2 桁成長を達成しました。」

ゴピナタンはさらに次のようにコメントしています。「お客様はクラウドへの移行に伴い総合的な製品とサービスを求めておられますが、TCS にはさまざまな市場と業界にわたるソリューションの着実なパイプラインが存在します。Digital 導入を背景とし、TCS はアジャイル、自動化、およびクラウドをそのテーマとして、お客様のインフラストラクチャ、アプリケーション、およびビジネスオペレーションにわたって効率と予測可能な成果実現を推進しています。」

TCS の COO(最高執行責任者)兼エグゼクティブディレクター N. ガナパシー・スブラマニウムは、次のように述べています。「テクノロジーはさまざまな産業において新しい、前例のない急速な進化を推進しています。企業が自らの位置付けを維持しようとするれば、Digital 化を全面的に進め、アジャイルな状態を維持し、またより優れた常時繋がった状態 (always-on) であるエクスペリエンスにより顧客を満足させることが求められます。TCS はお客様のビジネスの実態に対する深い理解と、Digital 分野での人材、および現場での優れた実行力とを組み合わせ、お客様の変革と成長を支援する戦略的な役割を担っています。」

TCS の CFO(最高財務責任者)V.ラマクリシュナンは、次のように述べています。「悪条件の通貨レートにもかかわらず、TCS は業界をリードする業績で 2017 会計年度を締めくくり、同時に好調なキャッシュフローを生成しました。TCS は自らの Digital ビジネスの有機的成長を支え、新たな市場セグメントを構築し、また目標範囲内の利益率を達成するための投資を継続しています。」

2016-17 年度には、各市場において幅広い成長を遂げ、また BFSI、小売、およびハイテクを除くすべての業種において 2 桁成長を達成しました。2017 会計年度にはすべての市場において固定通貨ベースの成長を遂げました。主要市場の中では欧州が 2 桁(13.6%)成長したことによりマイルストーンであった 20 億ドルを超え、これに北米(7.6%)と英国(6.1%)が続きました。成長市場の中では中東・アフリカ(14.8%)と中南米(14.1%)が最も大きな成長を遂げ、インドは 10.1%、アジア太平洋地域は 5.7%でした。

サービス別ではエンタープライズソリューションとコンサルティングが売上高 30 億ドルを超え、またビジネスプロセスサービスが 20 億ドルを超えました。2017 会計年度には IoT と産業インターネットソリューションを推進源としてエンジニアリングが 17.4%と最大の成長を達成し、またインフラストラクチャサービスは 16%、続いてアシュアランスサービスが 12.5%、BPS が 10.4%の成長をそれぞれ遂げました。

第 4 四半期の主な契約案件

- 大手グローバル金融機関から、エンドツーエンドの ADM サービス提供を受注しました。
- 世界的大手トラベルコマースプラットフォーム企業から、Digital 技術によりカスタマーエクスペリエンスをより一層向上するイノベーションと構築を行う、主要なテクノロジーパートナーに選ばれました。
- 欧州の大手ライフサイエンス企業から、アジャイルかつ反復可能な事業分割を組織化するための IT ソリューション設計と変革を受注しました。
- 北米の垂直に統合された大規模公益企業から、IT 全体にわたるエンドツーエンドのアシュアランスサービスを提供し、またモビリティとアナリティクスポートフォリオをサポートする案件を受注しました。
- グローバルな大手消費家電メーカーから、カスタマーエクスペリエンスとサプライチェーン変革のための単独戦略パートナーに選ばれました。
- 欧州の大規模公益企業から、アプリケーションを簡素化、革新、およびデジタル化し、顧客への注力を強化するプロジェクトを受注しました。
- インドの大手公営損害保険会社から、意思決定と商品開発を迅速化するテクノロジー変革プロジェクトを受注しました。

- 北米のある製薬企業から、本社および製造業務全体にわたりアプリケーションを管理する案件を受注しました。
- アジア太平洋地域のある大規模な金融当局から、コアバンキング業務と業務機能変革のためTCS BaNCSが選ばれました。

Digital分野

2017会計年度のDigital関連の売上高は、さまざまな産業のお客様が自社の変革を目指して導入を加速されたことにより29%の成長を遂げました。TCSはその一連の製品とソリューション、事業分野に関する幅広いノウハウとお客様ごとの知識を通じ、クラウド、自動化、アナリティクス、およびIoT分野において大きな事業機会を捉え、2017会計年度の売上高全体のうち16.7%(30億ドル)をDigital分野が占めました。第4四半期末のDigital分野の売上高は全体の17.9%を占め、直前期比7.6%の成長を遂げました。

第4四半期中に開始された#Digital Indiaは、Aadhaar(アドハー:インドのマイナンバーに類似する制度)番号とAadhaarにリンクされた銀行口座を使い、小売店頭での個人識別番号 - 生体認証に基づく取引を実現し、ファイナンシャルインクルージョンを推進すると共に、底辺層にもデジタルペイメントをもたらすAadhaar Merchants Digital Paymentsプラットフォームです。販売店側はAndroidスマートフォン上のAadhaar Payアプリを使い、顧客のAadhaar番号と支払金額を入力することによって取引を開始します。付属の指紋読み取り装置を通じて顧客が認証された後、この金額はAadhaarにリンクされた顧客の口座から引き落とされ、販売店の銀行口座に振り込まれます。安価なフロントエンド機器と、すべての形態の支払に対応すると共にセキュリティが確保され拡張性を備えたマーチャントペイメントプラットフォームとの組み合わせは、#Digital Indiaを推進するソリューションのひとつです。

Digital 関連の第4四半期の主な契約案件

- 北米のバイオテクノロジー企業から、Digital変革のための戦略的パートナーに選ばれました。
- アジア太平洋地域のある資源企業から、AIを使った社員再活性化と顧客エンゲージメント強化を受注しました。
- 北米のエンジニアリング企業から、同社専用のモビリティエクセレンスセンター設立を受注しました。
- 欧州の小売企業から、デジタルマーケティングプログラム刷新のためのパートナーに選ばれました。
- 英国を拠点とする有数の金融機関から、データガバナンスのテクノロジーパートナーに選ばれました。
- 北米の小売企業から、AIを使ったサプライヤーコラボレーションシステム最適化を受注しました。
- アジア太平洋地域の公益企業から、モバイルアプリケーション一体化の枠組を拡大し、サポートする案件を受注しました。
- アジア太平洋地域の通信事業者から、モバイルアプリケーションのユーザーエクスペリエンス刷新を受注しました。
- 北米の開発銀行から、クラウドを使ったエンドツーエンドの変革実施を受注しました。
- 北米の工業会社から、クラウド変革戦略を推進するパートナーに選ばれました。

イノベーションと知的財産

2017年3月31日現在、TCSは当四半期に申請した198件を含めて3,359件の特許を申請中で、これまでに478件の特許を取得しています。

人材関連

TCSは事業拡大を支えるため採用活動を継続し、期末現在の総従業員数は130か国からの387,223人となりました。2017会計年度末において女性が占める割合は過去最高の34.7%でした。ITサービスでの離職率は10.5%(2016会

* TCSは、固定通貨ベースの算出にあたり、直前四半期からの平均通貨コンバージョン率を使用して本四半期の売上を再計算しています。また、本プレスリリースの日本語抄訳では、会計年度表示を本社(インド)に合わせた表記としています。(例: 2017年3月31日を末とする会計年度は「2017年度」となります)

For immediate use **PRESS RELEASE**

IFRS \$

計年度は14.7%)、全体としての離職率はLTMベースで11.5% (2016会計年度は15.5%) でした。2017年度には78,912名を新規に採用し、雇用者純増は33,380名でした。第4四半期の新規採用は20,093名、雇用者純増は8,726名でした。

エクゼクティブバイスプレジデント兼グローバル人事部門最高責任者のアジョイ ムカージーは次のように述べています。「TCSはTCS従業員の『Digital指数』を高めることに注力しており、2017会計年度末までに20万人を超える従業員にトレーニングを行い、50万件を超える新たなDigitalスキルを獲得させると共に110万件の認定証が交付されました。また採用パターンも進化し、インド以外の市場で採用される社員が増えているだけでなく、ハッカソンやゲーミングおよびコーディングコンテストを通じた通年での採用が行われるようになってきています。」

受賞と認定

ビジネスリーダーシップ:

- Brand Finance により世界で最も価値の高い IT サービス企業トップ 3 のうちの 1 社に認定
- Top Employers Institute により、27 か国中の「Global Top Employer」に認定
- Brandon Hall Group の「HCM Excellence Awards 2016」にて、複数の賞を受賞
- mKRISHI®が栄誉ある National Contest on Social Innovation 2016 を獲得
- Passport Seva Project が Express IT 2016 Award (Digital Citizen Solutions 部門)を受賞
- National Association for Business Resources より「Best and Brightest Companies To Work For®」および「Best and Brightest in Wellness™」の 1 社に認定
- ワルシャワの CEE Shared Services and Outsourcing Awards において「BPO Firm of the Year」に選出
- TCS Fit4life が People Matters League Awards - Total Rewards 2017 (Best in Wellness 部門)を獲得

パートナー:

- インフィニオン・テクノロジーより、2015-2016 年の「Best Supplier (IT サービス部門)」に選出
- Red Hat より、北米地域における 2016 年「Partner of the Year」に認定

サステナビリティ:

- TCS Remote Energy Management Solution が 2016 年「IoT Award for Connected Building」を受賞

2016年3月31日、2017年3月31日を末日とする
 通年の包括利益の未監査連結財務諸表要約
 (単位:100万ドル、一株当りデータを除く)

	2016年3月31日を末日とする 通年決算	2017年3月31日を末日とする 通年決算
売上	16,545	17,576
営業原価	9,274	9,965
売上総利益	7,271	7,611
販売管理費	2,886	3,093
営業利益	4,385	4,518
その他利益(費用)、純額	464	624
税引き前利益	4,849	5,142
所得税	1,142	1,215
税引き後利益	3,707	3,927
少数株主持分	19	10
純利益	3,688	3,917
米ドル建て1株当り利益	1.88	1.99

2016年3月31日、2016年12月31日、2017年3月31日を末日とする
 四半期の包括利益の未監査連結財務諸表要約
 (単位:100万ドル、一株当りデータを除く)

	2016年3月31日を末日とする 第4四半期	2016年12月31日を末日とする 第3四半期	2017年3月31日を末日とする 第4四半期
売上	4,207	4,387	4,452
営業原価	2,375	2,490	2,504
売上総利益	1,832	1,897	1,948
販売管理費	736	756	802
営業利益	1,096	1,141	1,146
その他利益(費用)、純額	134	175	148
税引き前利益	1,230	1,316	1,294
所得税	291	310	300
税引き後利益	939	1,006	994
少数株主持分	1	6	2
純利益	938	1,000	992
米ドル建て1株当り利益	0.48	0.51	0.50

* TCS は、固定通貨ベースの算出にあたり、直前四半期からの平均通貨コンバージョン率を使用して本四半期の売上を再計算しています。また、本プレスリリースの日本語抄訳では、会計年度表示を本社(インド)に合わせた表記としています。(例:2017年3月31日を末日とする会計年度は「2017年度」となります)

2016年度第4四半期・2017年度第4四半期末監査連結財務状態
(単位:100万米ドル)

	2016年3月31日現在	2017年3月31日現在
固定資産	1,780	1,811
無形資産及び営業権	595	581
売掛金勘定	3,634	3,498
未請求売上	603	825
投資	3,445	6,474
現金及び現金同等物	950	555
その他流動資産	963	1,119
その他固定資産	1,799	1,385
総資産	13,769	16,248
株主資本	11,048	13,619
長期借入金	12	11
短期借入金	25	34
その他流動負債	2,325	2,204
その他長期負債	305	323
少数株主持分	54	57
負債総額	13,769	16,248

タタコンサルタンシーサービシズ(TCS)について

タタコンサルタンシーサービシズは、世界の企業を顧客として革新的かつ業界最高水準の IT サービス、コンサルティング、およびビジネスソリューションを提供する企業です。TCS はコンサルティングを基盤とし、IT、BPS、インフラストラクチャ、エンジニアリング、およびアシュアランスサービスを総合的に展開しています。これらは卓越したソフトウェア開発の基準として認識されている、TCS 独自のグローバル・ネットワーク・デリバリー・モデル(Global Network Delivery Model™)を通じ、提供されています。TCS は世界有数のコングロマリット(複合企業体)であるタタグループに属し、387,000 人を超える最高のトレーニングを受けた人材を世界 45 カ国に展開しています。2017 年 3 月 31 日を末日とする会計年度の売上高は 176 億米ドルに達し、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。TCS の詳細については www.tcs.com/jp をご覧ください。

###